

## 令和元年度 第1回学校協議会（議事録）

### 出席者（別紙）

- 1 校長挨拶
  - 2 学校運営協議会委員の紹介
  - 3 事務局の紹介
  - 4 運営協議課題
- 1) 令和元年度 学校経営計画について

- スライド3. 生徒数と教職員数について  
スライド4. 系・専科について  
スライド5～6. 教育課程について  
スライド7. めざす学校像・スローガンについて  
スライド8.

1 確かな学力の育成と授業改善について

- ・授業アンケート（年2回実施）の質問9「授業満足度」・・・81%を目標
- ・学校教育自己診断の質問5「授業が工夫されていて内容が分かりやすい授業が多い」  
・・・48%→目標53%以上（過去5年のデータをもとに目標設定）
- ・基礎学力調査・・・ベネッセ国数英平均計210点以上を目標としている。
- ・家庭学習者の増加・・・24%以上（過去5年間の平均値をもとに目標設定）
- ・図書館機能の充実・・・平均58%以上
- ・資格取得の支援・・・H27以降変化なし
- ・英語の4技能指導・・・Writingがグレード2で他3技能はグレード1  
工学系は1年でかなり伸びている。今年からは英検ⅠB Aに変更し授業内で取り組む。

スライド9.

2 夢と志をもつ生徒の育成

- ・人権教育の充実度・・・55%を目標。50%を切っていてはいけない。
- ・先生の相談体制・・・平均54%以上を目標
- ・問題行動指導・・・減少傾向にある。
- ・遅刻件数・・・目標は2,500件以下。3年が増加傾向にある。特に就職内定後が目立つ。
- ・転退学・・・目標2.1%以下。転学0.75%、退学0.97%。合わせて1.72%  
全国の中途退学率H29で0.8%に対し本校は0.95%である。
- ・情報モラルやセキュリティの啓発に努める・・・各学年1回、外部講師を招いた研修を行う。  
全国のデータを校長より紹介。スマホでの誹謗中傷が増えている。
- ・進路指導の充実・・・行事の充実68%以上。  
就職一次合格率は工科高校平均以上  
県内就職者割合の紹介。東北・九州と競争しなければならない。  
H30進路状況について、工学系との比較  
資本別の就職状況 10億円以上が半数  
産業別就職状況
- ・進路希望の実現・・・内定率100%、進学率100%
- ・離職率調査・・・22.5%以下

スライド10.

3 信頼される魅力ある学校づくり

- ・広報活動・・・中学校訪問、出前授業、学校説明会の精査・充実、体験入学、見学会
- ・地域との連携・・・ラグビーカーニバル(旭区ラグビー部)、たそがれコンサート(西成区吹奏楽部)等
- ・志願者倍率・・・1倍以上。地域比率について。倍率の推移について。
- ・ものづくりに対応する教員の育成・・・エコデン、旋盤競技、電気工事、ロボット相撲、マイコン
- ・部活動の加入率 67%以上。最新の状況では62%と減少傾向が続いている。
- ・学校課題の対応と迅速な組織体制・・・管理職・首席・指導教諭・事務長での五役会の設置
- ・校務のICT化・・・教室・施設予約のICT化など

- Q. 目標設定についてどのような視点で行っているのか。  
A. 生徒の実態を踏まえながら行っている。教員全体で共有していきたい。
- Q. 基礎学力調査について（ベネッセ基礎力診断テスト）工学系の変動が大きい理由について  
A. 中学校側の評価が変わっている。3年間の指導、卒業後の進路等もプラスに働いている。  
（首席）工学系で毎年必ず英検2級の合格者を出している。司法予備試験合格した卒業生もいる。  
そういった生徒が引っ張っている。  
（系長）選択科目に力を入れているので力を伸ばしている。3期生から入試制度が変わったことや卒業生の満足度が高い。
- Q. 工学系の文系の割合と進路先を知りたい。  
A. 30～40%は文系。音楽系の大学、ラグビーの強い大学（体育の教員免許が取れる）、幼稚園教諭保育士関係、美術系、建築系、外国語系など
- Q. 中学生に広報する際、それはプラスに働いているのか。  
A. 説明会等でプレゼンする際、卒業生とのトークセッションを行う時がある。卒業生が中学生へ向けて、「工学・理系分野と方向が決まっていなくても、入学してから選択科目もたくさんあるし、文系志望者もいるので安心して受験してほしい」と説明をしてくれるので志願しやすくなっていると思います。
- Q. 部活動加入率の下がった要因と増やすための見通しはあるのか。  
A. 2年生になってくると資格取得に注力する生徒も出てくる。部活動に励める環境が整っているのだが、加入率が伸びない。運動部が顕著に減っている。  
（教頭）入学者アンケートで部活動に入らない理由として「アルバイトがしたい」という理由が多い。家庭の経済的な面も要因としてあるのではないかと考えている。
- Q. インターンシップの実施時期は9・10月はないのか。  
A. 長期休業中が多い。
- Q. 受け入れる企業数は増えないのか。  
A. 毎年、インターンシップ希望者の数に合わせて対応している。
- Q. 離職率について、辞めた後の追跡は行っているのか。  
A. アンケート項目で企業に調査しているが、半数以上の企業が「分からない」と答えている。
- Q. 本人に直接聞けないのか。  
A. 個人だとアンケートの回答率が悪いので、つながりのある企業を中心にお願いをしている。退職の主な理由としては、ほとんどが「一身上の都合」や「進学を希望する」などです。
- Q. 課外活動と家庭学習の関係については把握しているのか。  
A. 幼小系長）レポートを中心に調べ学習やプリント課題などが家庭学習につながっていると考えている。  
電気系長）遠方から通学していて、部活動も勉強も両立し優秀な成績を収めている生徒もいる。  
家庭学習ではなく、授業外学習という捉え方でいうと、少なからずいると思われる。
- Q. 懲戒件数、転・退学率が低い要因は何か。  
A. 生徒が自立して取組めていることが多い。  
懲戒件数では、喫煙行為が一昨年から昨年に比べ減った。単車通学の規定を厳しくしたので、それがどう影響するか分からない。

## 2) 令和元年度選抜に向けた広報活動について（別紙）

- 学校説明会: 13か所、出前授業: 摂津4中17名参加、中学校訪問: 11～12月頃、大阪府産業教育フェア: 7月21日（日）、ものづくり未来展: 8月6日（火）～18日（日）府立中央図書館にて。

- Q. 淀工を受けたきっかけは把握しているのか。  
A. 調査していない。→今後アンケート項目に入れたい。
- Q. ホームページの閲覧件数の統計はとっているのか。  
A. とっていない。  
（意見）件数の増減で、広報の加重バランスを検討できる。

### 3) 学校運営協議会からのご意見等

Q. 工科高校教員研修で大工大のPBLを見学に来られているが、取組み状況を知りたい。

A. 校長より概要と今後の流れの説明があった。

意見)大工大で取り組んでいるが、マンネリしやすいので注意が必要。グループ構成は6名以下が望ましい。スケジュール管理ができないので指導が必要である。テーマをいくつか用意しておかないと、いきなりはできない。お金の面など制約が必要。うまいテーマ設定でないと機能しない。3年次からやってしまうと、普通科出身の学生はなかなか動けない。工業出身の学生がリードしている。はじめるのであれば1年からがよい。

意見) IOTについて、機械とIOT、機械とAI、専門とAIなど関連付けた学習が大学では求められている。また基礎としてのプログラミング力が必要とされている。どのように取り入れるかが差別化をはかるポイントとなるので、動向に注視していただきたい。

### 5 報告事項について

1) 平成30年度学校評価について(校長より別紙)

2) 令和2年度教科書選定について

現在、選定中につき、検定教科書の見本を展示している。ご覧ください。

選定後、第2回で報告します。

3) 学校運営協議会資料について、各分掌、系・科主任から説明。

6 その他 学校行事などの予定について案内

第2回、第3回の時期について連絡